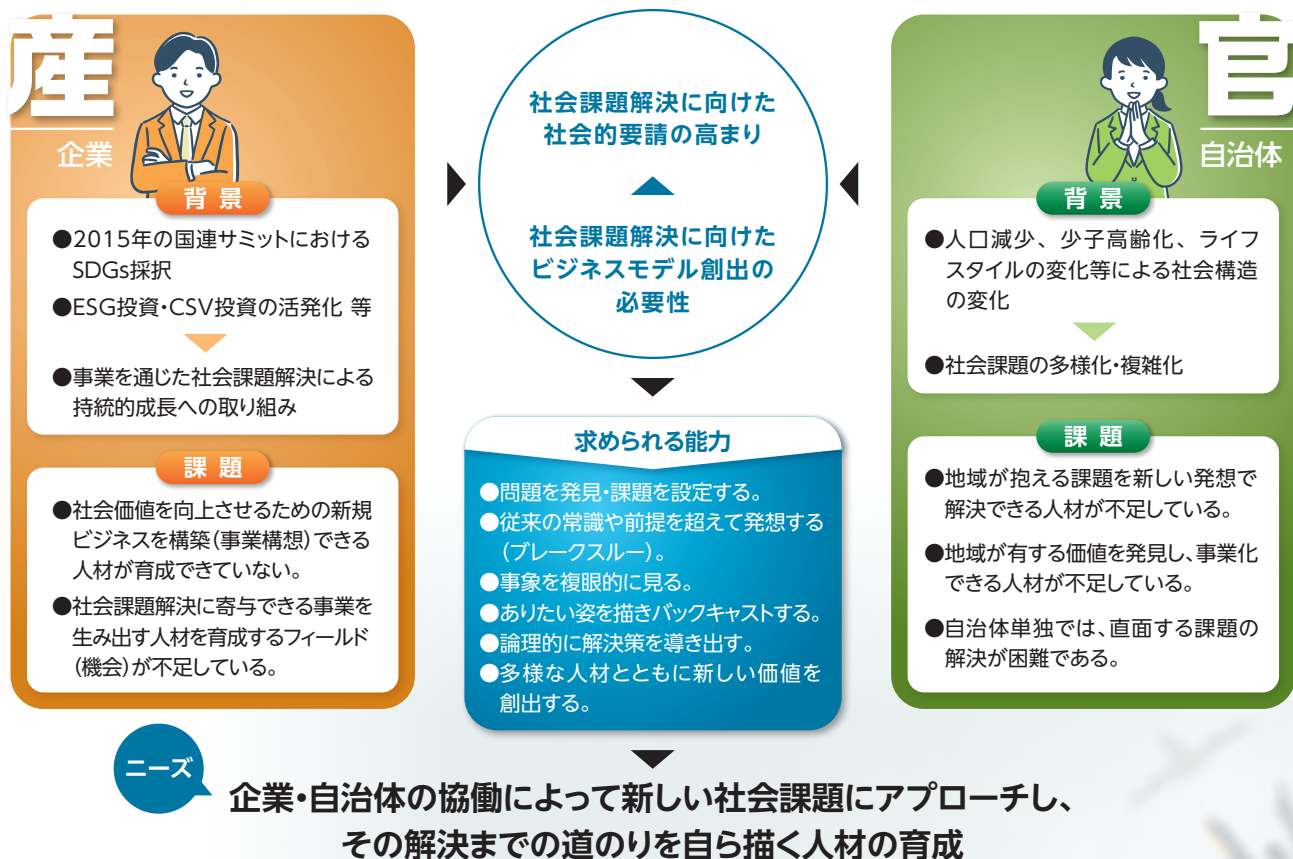


筑波大学スポーツウェルネス学学位プログラム
スマートウェルネスシティ政策開発研究センター
エクステンションプログラム

スマートウェルネスシティ アカデミー



「スマートウェルネスシティ アカデミー」



スマートウェルネスシティ アカデミー開講の背景

注) ESG:Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス) CSV:Creating Shared Value(共通価値の創造)

スマートウェルネスシティ アカデミー開講の背景と目的

人生100年時代を迎えて、我が国においても個人のみなならず、組織、地域(まち)、そして国全体としてライフコースの見直しを検討する必要性に迫られています。また、2015年の国連サミットでは、SDGsを含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択し、誰も置き去りにしないための新たな行動計画が示されました。これにあわせるように企業ではESGやCSVへの投資が活発化し、事業を通じた社会課題解決による持続的成長への取り組みが重視されています。一方、自治体では、少子高齢化人口減による社会構造の変化で、社会課題の多様化・複雑化が大きな問題となっています。企業と自治体、いずれの立場からも社会課題解決に向けたビジネスモデルの創出が求められており、これを可能とする人材育成は急務です。

しかしながら、我が国の企業の多くは、社会価値を向上させるための新規ビジネスを構築・構想できる人材が育成できていないのが現状で、加えて、そのような人材を育成するフィールドや機会も不足しています。一方、自治体では、地域が抱える課題を新しい発想で解決できる人材、及び地域が有する価値を発見し、事業化できる人材が不足しており、もはや自治体単独では直面する課題の解決が困難な状況となっています。したがって、これからは「問題を発見し課題を設定する能力」、「従来の常識や前提を超えて発想する能

力」、「事象を複眼的にとらえられる能力」、「論理的に解決策を導き出す能力」、そして「多様な人材とともに新しい価値を創出する能力」を有する人材が企業側にも自治体側にも求められているといえるでしょう。さらには、企業と自治体の協働によって新しい社会課題にアプローチし、その解決までの道のりを自ら描く人材の育成が必要であると考えられます。

そこで、このエクステンションプログラムでは、本研究センターが産官学連携で集積してきたスマートウェルネスシティ創生に関わるエビデンス、異分野連携のための先進的かつ強固なネットワーク、ならびに社会人大学院で20年近く蓄積されてきた実践的教授法を駆使して「新しいウェルネス社会の課題にアプローチし、その解決までの道のりを自ら描くことのできる人材」の育成を目指します。具体的には、「エビデンスベースでビジネスを構築できる人材」及び「バックグラウンドの異なるメンバーの価値観を理解し、互いの考えや強みを引き出しながら、チームとしての成果に結びつけることができる人材」を、ウェルネスやスポーツをはじめとする多彩な分野で広く活躍する経験豊富な講師陣とともに、インプットセッションとアクティブラーニングから成る先端的なプログラムにより育成します。

プログラムの構成

本プログラムは、「インプットセッション」と「アクティブラーニング」で構成されます。

◆インプットセッション



基礎セミナー

社会課題解決に不可欠な基礎能力を身につけることを目的とします。具体的には「課題の設定力と解決力」、「論理的思考力」、「事業計画の立案力」及び「データの分析力と活用力」といった能力を、筑波大学東京キャンパスビジネスサイエンス系の教授を中心とした講師陣の講義、及び講師と受講者間または受講者間のディスカッションを通じて身につけます。



事例検討セミナー

スマートウェルネスシティ実事例から課題の視点と解決の実際を学ぶことを目的とします。スマートウェルネスシティを目指す上で障壁となる社会課題に対し、解決に向けて挑んだ実事例を、まちづくりやDX等の現場での経験が豊富な講師陣の講話から感知し、複眼的かつ近未来的な視点で事象をとらえ、戦略的に課題解決を導くことの重要性を学びます。



インスピレーションセミナー

最先端をゆくパイオニアからブレークスルーの起点を得ることを目的とします。主に従来の常識や前提を超えて発想する能力、あるいは新しい価値を創出する能力に焦点をあて、各分野のパイオニアである講師陣の講義や講師との対話からインスピレーションを得ることで、それらの能力を高めるきっかけとします。

◆アクティブラーニング

フィールドワーク

実際の自治体における特定課題を共有した上で、その課題解決に向けた仮説設定、リアルフィールドでの実地研修、及び課題解決を導くプロジェクト計画の立案を4～5人のグループ単位で実践します。

グループワーク・メンタリング

インプットセッションにおける各講義後には、指定されたテーマに対し、講師を交えたグループディスカッションとグループ間のディスカッションを毎回必ず行います。また、フィールドワークで課される仮説設定や計画立案、ならびにそれらの資料作成をグループワークにより進めていきます。各グループに対してメンターを配置し、定期的なメンタリングも行います。メンターは、筑波大学スマートウェルネスシティ政策開発研究センターの客員教授、及び教員が担当します。

内藤 久夫
市長より

実地研修地「韮崎市」のご紹介

実地研修先に韮崎市をご選定いただき感謝申し上げます。実際に本市が抱える課題を題材に実地研修を行っていただけますことに、厚くお礼申し上げます。

人口減少や少子高齢化の進展、新型コロナウイルス感染症の影響など、経験したことのない転換期を迎えるなか、将来像である『すべての人が輝き 幸せを創造するふるさとにらさき』を目指して、活力あるまちづくりを推進してまいりましたが、昨今は、多様な年齢層の働き方や生活様式に大きな変化が生じたことで、運動やスポーツ、また交流の機会や外出頻度が減少し、子どもの体力の低下やフレイルのリスクが高い高齢者の増加が懸念されています。

こうした状況を打開するため、市営新体育館の建設を含め、様々な健康・スポーツイベントや交流事業を展開するほか、市スポーツコミッションによるスポーツツーリズムの推進を図るなど、子どもから高齢者・障がいをお持ちの方までのすべての人が生涯にわたって健幸で活力ある地域社会の形成を進めているところです。

今回のプログラムを通じて、研修にご参加される皆様方の優れた知見と経験を融合させて、持続可能なまちづくりを推進していきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



スマホの方はコチラから

にらさき観光ナビ <https://www.nirasaki-kankou.jp/index.html> search



甘利山レンゲツツジの風景



「スポまち!長官表彰2022」表彰式典・室伏長官と

イノベーションを起こすために

課題解決力を高める!!

**筑波大学スマートウエルネス
シティ政策開発研究センター
を立ち上げた背景について教え
てください。**

この研究センターは筑波大学の東京キャンパス、丸ノ内線の茗荷谷駅という、国の政策に関わる霞が関や永田町等に非常に近い位置にあります。また、ここにいる教員の多くは、スポーツや健康政策に関わる研究をやっているという特性もあります。ここをさらに強化したいという想いと、社会人大学院という特殊性から産学連携の中でより実地的な、そして、イノベーションにつながるような政策研究を行いたいという思いで、この研究センターを立ち上げました。

**プログラムを開講する背景と
意義を教えてください。**

まず、筑波大学の東京キャンパスは、いわゆる社会人の大学院というのが特徴です。われわれのスポーツウエルネス学位プログラムは修士、博士の両方を備えています。修士に関してはちょうど20年、そして博士に関しては6年という教育期間が経ちました。われわれは社会人教育、リカレント教育の経験を培ってきました。これまで多くの企業の方や自治体の方などに、われわれの門をたたいていただいて、より高度な職業人として巣立っていただいています。

企業の経営者層や自治体の首長さんたちと意見交換をする中で、もちろんこれからは修士、博士へ人を送り研鑽を積ませたいという思いもありますが、やはり一定の期間がかり、現実的にはハードルが高いというお声を聞いていました。

その中でエクステンションというやり方で時間的な制約のハードルを下げて、その代わりに最先端の知見、そして何よりもいま大事なイノベーションを起こすための課題解決力を高めるために、そこに特化した教育や経験、そして、われわれ教員とのヒュー

マンリレーションを作っていく、そういう場が何よりも必要だということとで、このセンターを立ち上げることにしました。

**スマートウエルネスシティの
実現に必要な高度専門人材
について教えてください。**

皆さんお分かりのようにいま我が国は、少子高齢化です。特に高齢化部分では超高齢社会です。ここからさまざまな社会課題が生まれます。あるいはもう生まれて、課題が大きくなっています。例えば、社会保障の持続性という問題もあります。

最近の研究では、きりとしたことは、都市環境そのものが人の健康や幸せに大きく貢献するということです。また、スポーツももちろんですが、やはり人を感動させ、そして仲間を作ることが、つながりを持って健康に寄与していきます。この掛け算です。スポーツ、健康そしてまちづくり、こういう掛け算をしていくのが、スマートウエルネスシティです。「このまちに住むと自然と健康になつてしまふ」というまちを全国に広げるといふポリシーでわれわれは進めています。

これを理解してくださる人材を産業界や自治体、行政、それ以外の領域の多くに作ることで、この社会課題を加速度的に解決していくことに、われわれアカデミア側も貢献をすべきだと強く考えています。

われわれはそれに資するだけのリソースを東京キャンパスに準備できていると自負しておりますので、ぜひ

多くの方にチャレンジをしていただきたいと思っています。

**どのような方に参加して
いただきたいですか？**

スポーツ領域、健康領域、まちづくり領域に関わられている企業の方、自治体の方、NPOの方、あるいは、競技団体なども単なる競技力向上だけではなく、いかに地域と関係しながら貢献していくかということを模索されていますので、そういう観点の仕事に興味ある方です。われわれはある面でエリートを養成しようということ、一定の経験を持つておられ、さらに飛躍されたいという人材を求めています。

エリートという言葉を使ったのですが、一流大学を出たり、一流企業に入っていたりすることだけが、エリートではありません。「社会に対して責任を持てる人」をわれわれはエリートと言います。

責任を持てる人というのは、気持ちだけではなく、やはり具体的な課題を解決して、社会をより良くしていく、前進させる、そこに貢献する人材です。そこに熱い志を持つ方々にお集まりいただきたいと思います。

**このインタビューをご覧に
なっている皆様にメッセージを
どうぞ。**

このエクステンションのプログラムでは、われわれ教員も中に飛び込んで、一緒に現実に課題を解決

する方策を追求していきます。ぜひ多くの皆さんにチャレンジしていただければと思います。

久野 譜也

筑波大学教授(体育系)／スポーツウエルネス学位プログラムリーダー／スマートウエルネスシティ 政策開発研究センター センター長

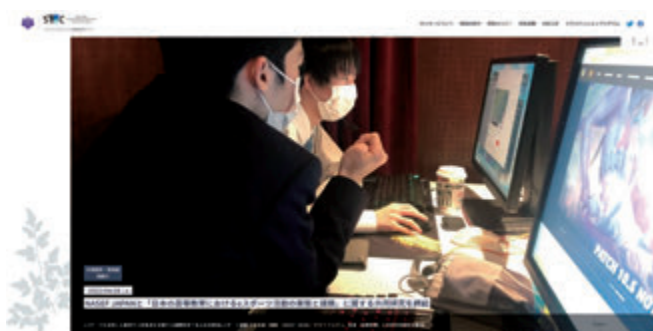
1962年生まれ。筑波大学大学院医学研究科博士課程修了。博士(医学)。2011年より現職。2002年に健康増進分野日本初の大学発VB株式会社つくばウエルネスリサーチを設立。代表取締役社長を務める。科学的根拠に基づいた高齢化社会に対する日本の健康政策の構築を目指して2009年全国9市長とSmart Wellness City首長研究会を立ち上げる。同会は2023年6月現在43都道府県120市区町村に拡大。スポーツ庁スポーツ審議会委員・健康スポーツ部会部会長代理を務める。

プログラム受講により期待されること

- 企業、スポーツ・健康関連団体、自治体、及び省庁から選抜された受講者が、自治体が抱えるリアルな課題に取り組み、ビジネスモデル創出を通じた解決プロセスを体験することにより、企業やスポーツ・健康関連団体等の「産」側は、自治体の意思決定プロセスや抱えている課題を把握し、自社のビジネスを創出する可能性を見出すことが可能となります。一方、自治体や省庁等の「官」側にとっては、企業の意思決定のスピード感や最新の動向を知ること、新しい価値観や組織文化を経験する機会になります。
- 個々の受講者がデータ分析・可視化の重要性に気づき、種々のデータを活用して現状把握、問題発見、課題設定、要因分析、及び戦略策定等をエビデンスベースで推進することに重きを置くことができるようになります。
- 組織文化や価値観の異なる業種、異分野のメンバーまたは講師陣とのディスカッションや共同作業を通じて、自身の思考の枠組みや囚われに気づいたり、高い視座、多様な視点あるいは広い視野が得られたり、企業と自治体の文化の違いを理解した上で互いの利益につなげたりすることができます。

筑波大学のエクステンションプログラムとは

筑波大学は、知の全ての分野において幅広い教育研究活動を展開する研究大学型総合大学として、自然と人間、社会と文化に係る幅広い学問分野において、深い専門性を追求すると同時に、既存の学問分野の垣根を越えた協働を必要とする領域の開拓に積極的に取り組み、国際的に卓越した教育や研究を実現することを目指しています。このエクステンションプログラムは、こうした社会貢献の1つの形として、本学の高度で先駆的な研究・教育分野から得られた成果をいち早く社会に還元し、皆様に見える形でお届けすることを目的としています。他に例を見ない学際的な融合により、火花を散らしながら生み出された最先端の学問を、それを基盤とした社会還元を目的としたプログラムを通じて、直接感じていただければ幸いです。



スマートウェルネスシティ・コミュニティ

本プログラムを通して生まれるコミュニティは、『スマートウェルネスシティ・コミュニティ』によって、常にリアルタイムで最新の知識や情報を共有できるようフォローアップされます。プログラムで得た学びを踏まえ、自身のビジネスや社会実装を推進する中で、さらに未知の課題に直面することは容易に想像されます。そのような時、『スマートウェルネスシティ・コミュニティ』は、新たな産学連携事業の立ち上げやコンソーシアム設立など、本学との持続的な関係強化を促進します。修了後の具体的な活動展開の例として、各種イベントや研究会、講演会の開催、修了生のモデレータ参画などが想定され、このコミュニティを通じ、変革し続ける本プログラムに継続的に関わることができます。



スマートウェルネスシティ政策に欠かせないSDGsの視点からも有益なプログラムに

本プログラムは、実際に自治体が抱える社会課題を取り上げて、その解決に向けた政策や課題解決策を検討していきます。SDGsはその立案に欠かせない概念です。基礎セミナーでは、地球環境を中心とした社会課題解決に求められるマーケティングや、人と人との関係から社会課題に取り組むAI技術、それを踏まえて、成果を生むための事業計画の立案などを学びます。これらは、SDGsの実現に不可欠な知識でもあります。また、事例検討セミナーでは、住み続けられるまちづくりはもちろん、すべての人に健康と福祉を届ける政策的観点や実事例などを、実際に学びながら、実地研修における自治体の課題に落とし込んでいきます。最後には、これらを踏まえてイノベティブな解決策立案に繋げるためのインスピレーションを得ることができます。受講を通して、スマートウェルネスシティの実現とSDGsの実現が、親和性と繋がりのあるものとして、理解が深まれば幸いです。

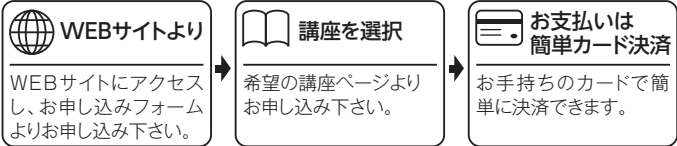


「スマートウエルネスシティ アカデミー」募集要項（案）

期 間：2024 年 8 月～ 2025 年 2 月（90 分 ×27 コマ、全20日間）
定 員：20 人（最少人数：6 人）※弾力的に調整あり
受 講 料：1 人あたり 66 万円（税込）※実地研修の宿泊費、移動費は別途受講者負担、1 社あたり最大 2 人までとする
開 催 方 法：対面
開 催 場 所：筑波大学東京キャンパス ※学外でのフィールドワーク（実地研修）あり
受 講 対 象：健康経営を推進する企業、スポーツ・健康関連団体、自治体及び省庁などに所属するウエルネス社会の課題解決を担う次世代プロジェクトリーダー（候補を含む）等
備 考：修了者には修了証、ならびにスマートウエルネスシティ・コミュニティの ID を発行する
カリキュラム：下表の通りとする。なお、講師ならびに日程については、変更の可能性がある。

日付	時間	インプットセッション	アクティブラーニング
8/31 (土)	13:00～17:00 (17:30～交流会)	導入セッション(オリエンテーション、参加者交流会、事前評価)	
		オープニングセミナー「本アカデミーにおける特定課題を共有する」	
		何がウエルネス社会の本質的課題なのか？ 担当:久野 謙也(筑波大学体育系教授/SWC政策開発研究センター長)	
		調整中 原則的に、(木) 19:00～21:00、又は、(土) 13:00～17:00	
9/20(金) ～9/21 (土)	(集合時間等の 詳細は別途案内)		フィールドワーク 特定課題の共有・実地研修 1泊2日 in 山梨県韮崎市 ・まちなか見学 ・自治体職員との意見交換
		調整中 原則的に、(木) 19:00～21:00、又は、(土) 13:00～17:00	グループワーク 1グループ3～5人で、特定課題解決のための仮説設定に向けたディスカッション、ならびに中間報告会に向けた資料作成などを行う。 メンタリング 教員、および韮崎市の関係者、キーパーソンによるメンタリングを、適宜実施する。
11/2 (土)	13:00～17:00 (17:30～交流会)		特定課題の解決に向けた 中間報告会
		調整中 原則的に、(木) 19:00～21:00、又は、(土) 13:00～17:00	
11/15 (金) ～11/16 (土)	(集合時間等の 詳細は別途案内)		フィールドワーク 特定課題への取組・実地研修 1泊2日 in 山梨県韮崎市 ・グループごとに自治体と共に実地研修 ・事業計画案進捗報告
		調整中 原則的に、(木) 19:00～21:00、又は、(土) 13:00～17:00	グループワーク 特定課題解決のための事業計画立案に向けたグループワーク、ならびに最終報告会のための資料作成を行う。
2/1 (土)	13:00～17:00 (17:30～祝賀会)	課題解決を導くプロジェクト計画の最終報告会、グループ評価、アワード授与、事後評価、修了祝賀会	

お申し込み方法



<https://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

※受講可否については後日事務局より連絡いたします。

お申込みお問合せ先 筑波大学 エクステンションプログラム事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 高細精医療イノベーション棟1F

TEL: **029-859-1648** (受付時間:月～金 9:30～17:00)

お申込み <https://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

お問合せ ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp

申込受付期間：8月4日（日）まで

